札幌で元気な今金町をＰＲ　さっぽろオータムフェスト2009



９月18日から10月４日まで札幌市大通りにて開催された「さっぽろオータムフェスト2009」で今金町が出店しました。

今回参加したのは、今金町農業協同組合、うまいべイ「こだわり工房」、小川豆腐店、ワークショップいまかねの４事業所で、それぞれの自慢の商品を持ち寄り、販売し今金町の味をＰＲしました。来客された方から「今金町の商品は良質で安心して食べられる」と高く評価され、商品を手に満足した様子でした。

また、神丘出身の山崎慎也さん(札幌市在住)も、多くの方々に今金町の良さを知ってもらいたいと、店舗を出店して今金町の特産品を使用したカレーライス「いまカレー」や、今金男しゃくのフライドポテト、ポテトチップスなどを販売し、今金町のＰＲに貢献していただきました。



山崎さんは「食べてくれた人たちの反応がよく、２回、３回と買いにきてくれる人がたくさんいた。始まった当初はお店作りもうまくいかず、反応がいまいちだったが、最終的には多くの方々に今金町を知っていただけたと思う。これからも今金町に関わる全ての方々に喜んでいただけるようなＰＲ活動を続けていきたい。」と出店時の苦労や今後の抱負を語ってくれました。

音楽を通じて安全・安心な社会の実現を願う　道警ふれあいコンサート



北海道警察音楽隊のふれあいコンサートが9月27日、総合体育館でおこなわれ300名を超える町民が集まり心地良い音色と、カラーガード隊による躍動感溢れるグランドドリルを楽しみました。

演奏では、今金中学校吹奏楽部との合同演奏などを披露し大きな拍手が送られていました。また、今金交番熊谷所長の交通安全講話では「今金町の皆さんは、一時停止をきちんと止まらない方が多いです。一時停止はきちんと守ってください。」と交通安全に欠かすことの出来ない運転マナーについて話されました。

今金町の酪農のシンボル“日進牧場のサイロ”が撤去されました

今金町の酪農発展の象徴でもあった今金高原模範牧場の高さ20mのサイロ４基が、その役目を終え撤去されました。９月28日には、農協組合長や町長を初めとする関係者がサイロ前に集まり、完成当時を懐かしみながら撤去工事の無事を祈りました。



このサイロは、酪農経営の近代化を図るため、総事業費３億6,300万円をかけて昭和47年11月に完成した同牧場の施設で、当時は「牧場まつり」も開かれるなど、多くの町民から親しまれてきましたが、近年は老朽化による腐食も進み危険な状態にありました。

技術を活かしたボランティア活動　坂本グループ（坂本建設、幸栄工業）



坂本グループでは、専門的な技術を生かし地域に貢献することを目的として、河川清掃や公園の草刈や環境整備などのボランティア活動を行っております。

今年は、６月にクアプラザピリカキャンプ場周辺の環境整備を行ったのに引き続き、9月26日、町内の福祉施設での活動を目的として、光の里学園の除草作業を行いました。作業には15名があたり、刈り払い機などを使って施設周辺を４時間かけて除草作業を行いました。